

カリキュラム・マップ

文学部の教育目的	
世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや人に触れることを通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされた主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人を育てる。	

学修成果	
<p>【学部全体】 「学士(文学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。</p> <p>① キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること ② テキストを正確に読解できること ③ テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること ④ 複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと ⑤ 他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと</p>	<p>文学科は、言葉による人類の遺産を知り、文化創造の源に参加する。 ・文芸・思想専修では言語表現力に広く深い理解を持ち、哲学的思考を行い、それを論理的あるいは文芸的形式をもって表現できる。</p>

文学部文学科(文芸・思想専修)のカリキュラム				文学部の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	①キリスト教精神に裏打ちされた人文学の発想を幅広く深く身につけること	②テキストを正確に読解できること	③テキストについての自らの解釈を説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で表現できること	④複数のテキストや事象にわたる主題について首尾一貫してその細部を分析しさらにそれを総合する思考力を持つこと	⑤他者を理解するための柔軟かつ粘り強い思考力を持つこと	⑥言語表現力に広く深い理解を持ち、自ら表現すること	⑦哲学的思考を行い、その内容を自ら表現すること
入門演習 F1・F2	必修 (指定科目A)	1	文芸書や思想書などさまざまなジャンルのテキストに触れつつ、それらのテキストを自ら解釈し説明することができる。	○	◎	◎	△	△	○	○
卒業論文(制作)予備演習	必修 (指定科目A)	3	卒業論文ないしそれに準ずる文章を作成するうえで必要な論理と構成について学び、その成果をレポート作成に適用することができる。						◎	◎
演習 F1～F12	選択 (指定科目B1)	2	文芸・思想にかかわる基礎的な文献をじっくりと読み解き、粘り強い分析を行うことができる。	△	◎	◎	◎	◎		
演習F17～F32	選択 (指定科目B1)	3～4	文芸・思想にかかわる様々な専門領域に即して、教員の設定するテーマのもとに自ら探求に取り組み、その結果を表現することができる。		○	○	○	○	◎	◎
文芸・思想文献講読1～4	選択 (指定科目B2)	2～4	文芸・思想にかかわる諸問題について、外国語のテキスト読解をつづいて理解し説明することができる。		◎	◎		○		
文学講義401・402(文明批評論1・2)	選択 (指定科目C)	2～4	文明がはらむ諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。			◎				○
文学講義403・404(文芸評論1・2)	選択 (指定科目C)	2～4	特定の問題設定のもとで、文学批評・研究の種々の方法を習得し、自ら用いることができる。		○	◎			○	
文学講義405・406(文化翻訳論1・2)	選択 (指定科目C)	2～4	文化翻訳の諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。					◎	○	○
文学講義407・408(マンガ/アニメ表現論1・2)	選択 (指定科目C)	2～4	マンガ・アニメーションにかかわる諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。			◎			△	△
文学講義409・410(小説創作論1・2)	選択 (指定科目C)	2～4	小説創作にかかわる諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。		○	○			◎	
文学講義411・412(詩創作論1・2)	選択 (指定科目C)	2～4	詩の創作にかかわる諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。		○	○			◎	
文学講義413(ジェンダー論)	選択 (指定科目C)	2～4	ジェンダーをめぐる諸問題について理解し説明することができる。				○	◎		○
文学講義414(広告文芸論)	選択 (指定科目C)	2～4	広告という表現形態をめぐる諸問題について理解し説明することができる。				◎		○	
文学講義415(文芸編集論)	選択 (指定科目C)	2～4	文芸編集をめぐる諸問題について理解し説明することができる。				◎		○	
文学講義416(演劇)	選択 (指定科目C)	2～4	演劇をめぐる諸問題について理解し説明することができる。		△	△	◎		○	
文学講義417(現代歌謡論)	選択 (指定科目C)	2～4	現代歌謡をめぐる諸問題について理解し説明することができる。		○	△	◎		○	
文学講義418・419(世界文学論1・2)	選択 (指定科目C)	2～4	世界文学の諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。		○	△	○	◎	○	
哲学講義1(西洋哲学)	選択 (指定科目C)	2～4	西洋哲学の諸問題について理解し説明することができる。				◎	◎		○
哲学講義2(東洋哲学)	選択 (指定科目C)	2～4	東洋哲学の諸問題について理解し説明することができる。				◎	◎		○
哲学講義3・4(芸術論1・2)	選択 (指定科目C)	2～4	芸術表現とは何かという問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。			◎			○	○
哲学講義5・6(現代思想の諸問題1・2)	選択 (指定科目C)	2～4	現代思想の諸問題について、特定の問題設定のもとで理解し説明することができる。			◎		○		○
哲学講義7(死生論)	選択 (指定科目C)	2～4	生と死にかかわる諸問題について理解し説明することができる。			◎		○		○
哲学概論1	選択 (指定科目C)	1～4	西洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。			◎		○		○
哲学概論2	選択 (指定科目C)	1～4	東洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。			◎		○		○
現代倫理	選択 (指定科目C)	2～4	現代社会における倫理的諸問題について学びつつ、それについて考察し意見を述べるることができる。			◎		○		○
卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	選択 (指定科目C)	4	大学での4年間の学習・研究の成果を卒業論文または卒業制作として形に残すことができる。	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎